

桜町 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

使用教科書：（『高校生の地理総合』（帝国書院）、『標準高等地図』（帝国書院））

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ・地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 1節 地球儀と地図 1 地球上の位置と地上の現象 2 経度の違いと時差 3 球体と平面の世界 2節 地図と地理情報システム 1 地図の種類 2 地理情報システムの利用 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	4
2章 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 ・世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。 ・国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 1節 現代世界の国家と領域 1 国家の領域と国境 2 地図から見る日本の位置と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき 1 グローバル化と多様な結びつき 2 拡大する貿易 3 世界を結ぶ交通・通信 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 ・国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2

	<p>2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>・指導事項 序説 生活文化の多様性 1 生活文化を考察する視点 1節 世界の地形と人々の生活 1 生活と地形の関わり 2 河川がつくる地形と人々の生活 3 海岸の地形と人々の生活 4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 1 生活と気候の関わり 2 熱帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 3節 世界の産業と人々の生活 1 生活を支える農業の発展 2 生活を支える工業の発展 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 1 宗教・民族・言語の多様性 5節 多様な生活文化と地理的環境 1 国際理解を深めるために 2 世界からみた日本の生活文化</p> <p>・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	○	○	○	14
定期考査	1学期期末考査、考査返却			○	○		2
2 学期	<p>2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>・指導事項 事例1 産業① 経済発展による生活文化の変化 -東アジア- 事例2 結びつき① 他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 -東南アジア- 事例3 宗教・歴史① ヒンドゥー教と生活文化の関わり -インド- 事例4 自然環境① 乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 -中央アジア・西アジア・北アフリカ- 事例5 宗教・歴史② 植民地支配の歴史と生活文化の変化 -サハラ以南アフリカ- 事例6 宗教・歴史③ 伝統の継承と生活文化の関わり -ヨーロッパ- 事例7 自然環境② 寒冷な気候と生活文化にみられる工夫 -ロシア- 事例8 産業② 産業技術の発展と生活文化の関わり -アメリカ合衆国- 事例9 宗教・歴史④ 開発の歴史と生活文化の関わり -ラテンアメリカ- 事例10 結びつき② 結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 -オセアニア-</p> <p>・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	○	○	○	13
定期考査	2学期中間考査、考査返却			○	○		2



桜町 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

歴史総合 科目 歴史総合

教科 歴史総合 科目 歴史総合

単位数 3 単位

対象学年組 第3学年 A組

使用教科書 (『歴史総合』(第一学習社))

教科 歴史総合

の目標:

【知識及び技能】

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめるだけでなく、効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1部 歴史の扉</p> <p>【知識及び技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ①歴史と私たち ②歴史の特質と資料</p> <p>・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	4
<p>第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・工業化と世界市場の形成を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 産業革命と市民革命</p> <p>・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・工業化と世界市場の形成を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	15
定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2

1  
学  
期

	<p>第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第3節 イギリスの繁栄と国民国家の拡大 第4節 アジア諸国の変貌と日本の開国 第5節 帝国主義の発展</p> <p>・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	20
	定期考査	1学期期末考査、考査返却		○	○		2
	<p>第2部 近現代の世界と日本 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争を理解する。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第5節 帝国主義の発展 国際秩序の変化や大衆化への問い 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争を理解している。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 ・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	20
	定期考査	2学期中間考査、考査返却		○	○		2
2学期	<p>第2部 近現代の世界と日本 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会 第2節 経済危機と第二次世界大戦 第3節 第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成</p> <p>・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ・国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	18
	定期考査	2学期期末考査、考査返却		○	○		2

3 学 期	<p>第2部 近現代の世界と日本 第3章 グローバル化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・国際政治の変容を理解する。 ・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第3章 グローバル化と私たち 第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 第2節 国際秩序の変容と21世紀の世界</p> <p>・教材 自作作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・国際政治の変容を理解している。 ・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	18
	定期考査	学年末考査、考査返却		○	○		2
							合計 105

桜町 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科

社会探究 科目 社会探究

教科 科： 社会探究

科目： 社会探究

単位数： 2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組

使用教科書：（ 1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書 ）

教科 社会探究

の目標：

【知識及び技能】 自己の生き方、キャリアについて、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、探究の意義や価値を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、情報収集したことを整理・分析してまとめ、発表する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に主体的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、実社会や実生活に役立てようとする態度を養う。

科目 社会探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己の生き方、キャリアについて、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、探究の意義や価値を理解する。	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、情報収集したことを整理・分析してまとめ、発表する力を身につける。	課題研究に主体的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、実社会や実生活に役立てようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A オリエンテーション 【知識及び技能】 探究の意義と目標について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動について自分で課題を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの進路を思考し、探究活動の見直しをもたせる。	・1年間の学習内容について説明し、探究活動の見直しを立てさせる。	【知識・技能】 探究について理解を深めることができた。 【思考・判断・表現】 目的と照らし合わせながら研究テーマについて再度確認し、必要に応じて修正できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究の見直しを立てることができた。	○	○	○	1
	B 探究活動 【知識及び技能】 課題文を通して課題解決に活用する知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 課題文を通して学んだことを、探究活動に活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題文を通して学んだことを探究活動に活用し、意欲的に取り組む。	・ワークシート等の活動を通じて、進路やキャリアに関する知識を身につけ、自己表現する技能を習得させる。	【知識・技能】 自己の進路やキャリアについて、様々な視点を持ち、それを表現活動に活用できる。 【思考・判断・表現】 自己の進路やキャリアについて、思考した上でそれを他者と協働しながら表現する力をつける。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の進路やキャリアについて主体的に探究する姿勢を見せる。	○	○	○	6
	定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2
	C 探究活動 【知識及び技能】 課題文を通して課題解決に活用する知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 課題文を通して学んだことを、探究活動に活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題文を通して学んだことを探究活動に活用し、意欲的に取り組む。	・ワークシート等の活動を通じて、進路やキャリアに関する知識を身につけ、自己表現する技能を習得させる。	【知識・技能】 自己の進路やキャリアについて、様々な視点を持ち、それを表現活動に活用できる。 【思考・判断・表現】 自己の進路やキャリアについて、思考した上でそれを他者と協働しながら表現する力をつける。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の進路やキャリアについて主体的に探究する姿勢を見せる。	○	○	○	8
	定期考査	1学期期末考査、考査返却		○	○		2
2 学 期	D 中間報告書の作成 【知識及び技能】 書くべき内容とポイントについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 これまでの探究内容についてレポートにまとめさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい報告書となるよう他者意識をもたせる。	・文化祭に向けた展示として、今まで学んだことをまとめる。	【知識・技能】 書くべき内容とポイントについて理解することができた。 【思考・判断・表現】 これまでの研究内容とこれからの活動内容についてレポートにまとめることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 期限内に中間報告書を提出できた。	○	○	○	4
	E 探究活動 【知識及び技能】 課題文を通して課題解決に活用する知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 課題文を通して学んだことを、探究活動に活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題文を通して学んだことを探究活動に活用し、意欲的に取り組む。	・ワークシート等の活動を通じて、進路やキャリアに関する知識を身につけ、自己表現する技能を習得させる。	【知識・技能】 自己の進路やキャリアについて、様々な視点を持ち、それを表現活動に活用できる。 【思考・判断・表現】 自己の進路やキャリアについて、思考した上でそれを他者と協働しながら表現する力をつける。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の進路やキャリアについて主体的に探究する姿勢を見せる。	○	○	○	11
	定期考査	2学期中間考査、考査返却		○	○		2

